

2026 年 7 月 28 日
大崎電気工業株式会社

【大崎電気】海外スマートメーター事業の生産体制アセットライト化を推進 ーソリューション開発に海外の経営資源を集中ー

大崎電気工業株式会社(本社:東京都品川区、取締役社長執行役員 COO:渡辺光康、以下「当社」)は、海外事業を展開する連結子会社 EDM I Limited(本社:シンガポール、以下 EDM I 社)が保有する製造子会社 EDM I Electronics Sdn Bhd(本社:マレーシア、以下 EESB 社)の全株式を Cicor Technologies Ltd.(本社:スイス、以下 Cicor 社=シコール社)の子会社 Cicor Asia Pte. Ltd.(本社:シンガポール、以下 Cicor Asia 社)へ譲渡することを決定いたしました。

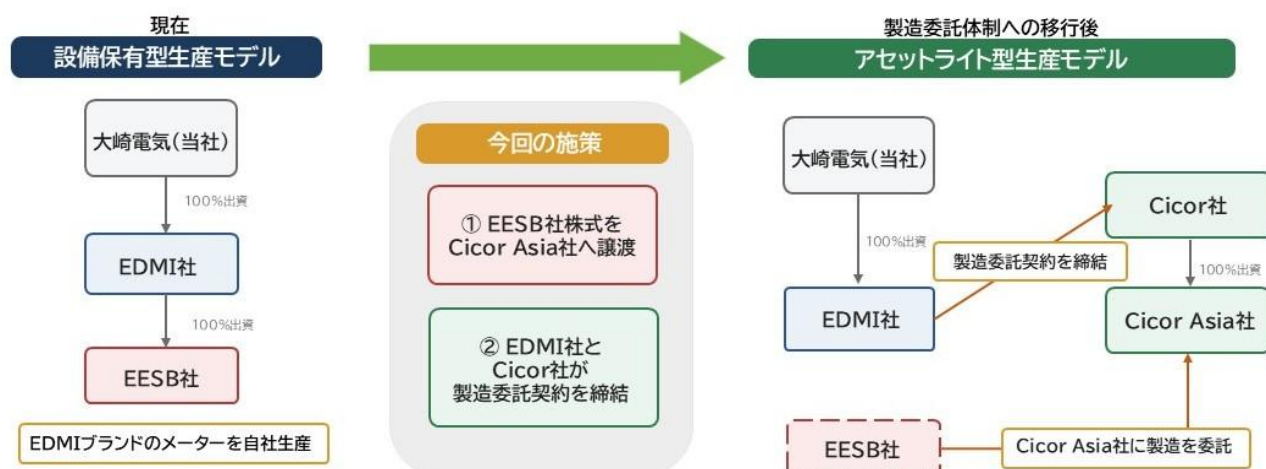
当社は、本件を海外スマートメーター事業の競争力強化と収益力向上に向けたビジネスモデルの戦略的な改革と位置付けており、本株式譲渡と製造委託体制への移行(下記)を通じて海外におけるアセットライト化を推進し、製品、ソフトウェア、エッジインテリジェンスおよびグリッドソリューションの開発など、競争優位領域への経営資源集中を図ります。

記

I. 本施策の概要

- ・ EDM I 社の製造子会社 EESB 社の全株式を Cicor Asia 社へ譲渡いたします。
(株式譲渡契約締結日:2026 年 7 月 29 日/譲渡実行予定日:2026 年 10 月 30 日)
- ・ 譲渡価額は 7 百万米ドル(約 1,085 百万円※)です。 ※当社想定為替レート 1 米ドル=155 円で円換算
- ・ EESB 社が担う生産機能は、Cicor 社との製造委託契約に基づき Cicor Asia 社へ移管いたします。(現在、Cicor 社との製造委託契約締結に向けた準備を進めております)
- ・ EESB 社は、当社海外事業の最大市場であるオセアニア向け製品を生産する海外の最主力工場です。(オセアニアでの売上高は EDM I 社売上高の約 5 割、当社メーター事業の連結売上高の約 2 割を占めております)
- ・ 製造委託体制移行後は、EDM I ブランドのスマートメーター生産は、Cicor Asia 社が担い、EDM I 社は製品、ソフトウェア、エッジインテリジェンスおよびグリッドソリューションの開発など、競争優位領域に経営資源を集中させます。
- ・ 本製造委託後も、製品設計・開発、知的財産、品質基準の管理および顧客対応などの中核機能は引き続き EDM I 社が担います。
- ・ 本製造委託体制への移行に伴う損益改善額は、今後締結予定の付帯契約に関する交渉に影響が生じるため、現時点では非開示といたします。
- ・ 本件のスキーム全体像は以下の通りです。

<本施策の全体スキーム>



II. 本施策の背景

- ・ 当社は、中長期的な企業価値向上に向け、収益性向上と資本効率化を通じた ROE 向上を重要な経営課題と位置付けております。
- ・ 海外スマートメーター事業では、次世代スマートメーターの市場展開に伴うさらなる競争力の強化とそれをベースとした事業成長の加速が喫緊かつ最重要の課題と考えております。
- ・ その実現に向けては、「生産体制の最適化」も例外ではなく、その具体化に向けた検討を進めてまいりました。
- ・ その結果、製造機能を高い専門性を持つパートナーへ委ね、EDMI 社は製品開発・ソリューション開発に経営資源を集中することが最適と判断し、委託先として Cicor 社を選定いたしました。
- ・ 同社は、EDMI 社の英国向け製品をモロッコ(北アフリカ)で生産するなど、当社グループとの協業実績を有していることに加え、品質、コスト競争力、生産能力およびグローバル展開力を有していることから、最適な生産パートナーであると判断しております。

III. 本施策の目的

- ・ 本施策は、EESB 社株式の譲渡と製造委託体制への移行を通じて、従来の「設備保有型生産モデル」から「アセットライト型生産モデル」への転換を図るものです。
- ・ 本施策の実行により、現在分散している機能別製造委託先の集約などによる原価低減効果に加え、設備投資負担の軽減、棚卸資産の圧縮、運転資本の最適化および支払利息の削減など、フリーキャッシュフローの改善を通じた資本効率の向上を目指します。
- ・ こうした取り組みを通じて創出した経営資源を、成長を加速させる領域への投資(※)に振り向けることで、持続的な企業価値の向上を目指します。

※ 新製品開発、ソフトウェア、エッジインテリジェンスおよびグリッドソリューションの開発 など

IV. 両社経営陣のコメント

Roy Kirsopp(ロイ・カーソップ)氏 (EDMI 社 Group CEO & Director):

「今回の合意により、EDMI 社は当社の強みであるスマートメーター技術やグリッドソリューションの開発に一層注力できるようになります。Cicor 社が強力かつ十分な製造支援を提供することで、EDMI 社はイノベーションと長期的な価値創造に集中するための十分な態勢を整えることができます」

Alexander Hagemann(アレクサンダー・ハーゲマン)氏 (Cicor 社 Group CEO):

「EDMI 社との協業は、OEM 企業が戦略的パートナーである Cicor 社に製造を委託することで持続的な優位性を実現できることを示す好例です。同時に、Cicor 社にとっても魅力的で企業価値向上に寄与する事業を創出するものです」

V. 今後の見通し

本株式譲渡に伴う 2027 年 3 月期の連結業績予想については精査中です。2027 年 3 月期第 1 四半期決算公表時点において 2027 年 3 月期の連結業績予想に修正はありません。

VI. 異動する子会社の概要

会社名	EDMI Electronics Sdn Bhd
本社所在地	Plot 226A, Jalan Cyber 1A Senai Industrial Park Phase III 81400 Senai, Johor, Malaysia
代表者	Jason Ng Choon How
設立	2010年10月5日
資本金	88,630千マレーシアリンギット (約3,414百万円)
事業内容	スマートメーターの製造および修理

VII. 株式譲渡先の概要

会社名	Cicor Asia Pte. Ltd.
本社所在地	2 SHENTON WAY, #18-01, SGX CENTRE I, SINGAPORE 068804
代表者	Alexander Hagemann, Director Cicor Asia & CEO Cicor Group
設立	1999年8月24日
資本金	23,940千米ドル(約3,878百万円) 1USD=162円換算
事業内容	電子機器等の受託製造および販売

VIII. EDM I 社の概要

会社名	EDMI Limited
本社所在地	シンガポール
代表者	Roy Kirsopp
設立	1973 年
事業内容	スマートメーターおよび計測システムの設計・開発・製造・販売
従業員数	953 名(2025 年 3 月 31 日現在。正社員数)
ウェブサイト URL	https://www.edmi-meters.com/

IX. 当社概要

会社名	大崎電気工業株式会社
本社所在地	東京都品川区東五反田二丁目 10 番 2 号
代表者	取締役社長執行役員 COO(代表取締役) 渡辺光康
設立	1937 年 1 月
資本金	7,965 百万円
事業内容	電力量計、配電盤・分電盤、監視制御装置、検針システム、スマートロック関連製品・システムの開発・製造・販売
上場市場	東京証券取引所 プライム市場(証券コード 6644)
売上高(連結)	100,900 百万円 (2026 年 3 月期)
従業員数(連結)	2,504 名(2026 年 3 月 31 日現在。正社員数)
事業所	本社、埼玉事業所
関係会社	国内 8 社、海外 16 社
ウェブサイト URL	https://www.osaki.co.jp

<本件に関するお問い合わせ先>

● 報道関係のみなさま

大崎電気工業株式会社 コーポレートコミュニケーション部

メールアドレス: pr_all@osaki.co.jp

TEL: 03-6694-7140